

計画	総合戦略	分野		基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市				関係課	子育て支援課 子ども未来応援センター		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
1	結婚・出産の希望をかなえるまち	3	1	結婚の支援	B	婚活アドバイザーやFPによる相談会 結婚生活セミナー等の開催 結婚生活支援 婚活への支援					・令和3年4月より、富士見市が埼玉県出会いサポートセンター運営協議会に入会し、市内居住者の登録の促進を図った。（富士見市会員登録状況 R3.3：99人⇒R3.12：138人）また、埼玉県出会いサポートセンターの出張登録会を令和4年1月に富士見市役所で実施し、登録の促進を図った。		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	結婚生活支援の補助件数		-	-					10件/年 (R7)	
			2	妊娠・出産の支援	B	不妊治療等の助成、妊娠に関する相談の充実 産前・産後サポート事業の推進 産後ケア事業の充実 情報提供の充実					・不妊治療等の助成、妊娠に関する相談は、機構改革により妊娠期から産後にわたる支援体制が一元化され、支援がつながるようになった。 ・産前・産後サポート事業及び産後ケア事業はR2年度から継続実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を控えたいという市民の声や、積極的に周知できない状況があった。		
タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
KSF	不妊治療費等の助成件数		166件/年 (R1)	191件/年 (R2)					226件/年 (R7)				
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	出生数		822人 (R1)	824人 (R2)					1,005人 (R7)				
	20～30代の社会増減数		+631人 (R1)	-					+650人 (R7)				
課題及び次年度の方向性													
<p>国・県の動向を注視するとともに、ニーズや効果を検証し、本市が実施する支援の検討や見直しを行う。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市						関係課	子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、生涯学習課、学校教育課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組						R3年度の成果及び効果（見込）			
2	子育ての希望をかなえるまち	3	1	子育て支援の充実	B	経済的支援（医療費助成など） 情報発信の充実（ガイドブック、HP、SNSなど） 情報共有の場の充実（コミュニケーション・悩みの共有） 子育て世帯の集いの場の充実 子育て世代を支える相談体制の充実						・市のイベント情報、子育て情報を随時発信し、利用者アンケートによる満足度は高い評価を得ている。一方、新規登録に関しては、妊娠届出時の妊婦面接で説明し、母子健康手帳やすすく子育てガイドブック等でも周知しているが、前年に比べ減少している。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
			KSF	妊娠届提出者の「スマイルなび」登録率	22.0% (R1)	13.0% (R2)					80.0% (R7)				
			2	教育の充実	B	特色ある幼稚園教育の推進 子ども大学☆ふじみなどの実施 イングリッシュサマーキャンプなど、英語に触れあえる機会の創出 STEM教育などの推進						補助制度の活用を促進するために、幼稚園に対して説明を重ねることで、目標を達成することができた。 STEM教育推進モデル校で3年～6年で年間24時間程度の授業実践を行った。研究の成果を「富士見市STEM教育 モデルカリキュラム」としてまとめるとともに、2月に研究発表会を行い、市内の教員を対象に発表する予定「イングリッシュ・サマー・キャンプ」は、今年度から3年生と5年生の2つの学年で実施した。コロナ禍の中での開催となったが、十分に対策を取りながら楽しくアクティビティを実施することができた。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
KSF	私立幼稚園特色のある幼児教育推進事業費補助金申請幼稚園数	6園 (R1)	9園 (R2)					9園 (R7)							
3	仕事と子育ての両立支援	B	保育所・放課後児童クラブの整備 幼稚園での預かり保育に対する補助 子育てサポートの充実（キャリアアップ支援、育児休業制度の周知、子育てサポート認定企業の推進、男性育児休業の推進）						民間保育所の改築整備に当たり、子育て支援センターを併設することとし、令和4年度の受入れから対応する環境づくりを推進した。 引き続き待機児童0人を継続するため、令和3年4月に針ヶ谷第2放課後児童クラブを開設した。 ソフト面での子育てサポートの充実について、取り組みを進める必要がある。						
タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値							
KSF	保育所待機児童数 放課後児童クラブ待機児童数	27人 (R2) 0人 (R2)	30人 (R3) 0人 (R3)					0人 (R2) 継続							
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値						
	保育サービスなどの充実に関する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出		47.6% (H30)	61.0% (R3)					57.9% (R7)						
子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子供のいる方で抽出		61.8% (H30)	71.4% (R3)					66.8% (R7)							
課題及び次年度の方向性															
<p>子育て支援については、これまでも継続して取り組んできており、一定の成果を上げてきている。特に保育所や放課後児童クラブについては整備が続いていることから、今後もニーズに留意しながら継続していく。</p> <p>将来的な人口減少を見据え、女性の就業率が向上していくことが予定される一方、子どもの数自体は減少傾向にあることから、両者の数値を適正に把握し、将来的な対応を検討していく。</p> <p>また、STEM教育など特徴的な取組については、積極的にPRしていくことにより、子育て世帯に選ばれるようシティプロモーションと連携していく。</p>															

計画	総合戦略	分野		基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市				関係課	文化・スポーツ振興課、高齢者福祉課、健康増進センター、障がい福祉課、公民館		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
3	健康長寿の希望をかなえるまち	3	1	支え合いの推進	B	生活支援コーディネーター活動の拡大 住民助け合いサービスの創設支援 高齢者見守りネットワークの普及・啓発 認知症サポーター養成講座の開催					コロナ禍のため、生活支援コーディネーターの地域活動は十分に行えていない。しかし、オンラインでの活動や会議開催など、できることを工夫しながら活動を行っている。		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	第2層、第3層協議体数		-	3ヶ所 (R2)					5ヶ所 (R7)	
			2	健康づくりの推進	B	フレイルチェック事業の実施 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進 パワーアップ体操クラブの増設、健康マイレージの実施 介護予防教室の実施、がん検診の推進					フレイルサポーターを養成し、フレイルチェック測定会を実施した。コロナ禍でパワーアップ体操クラブの開設が延期となった。健康マイレージ事業の参加者は順調に伸びている。		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
KSF	パワーアップ体操クラブ数		56クラブ (R1)	56クラブ (R2)					70クラブ (R7)				
3	生きがいつくりの推進	B	健康学習の充実、介護予防・フレイル予防に関する活動支援 高齢者のスポーツ・レクリエーションの充実 多様化する高齢者学習の支援、地域福祉やボランティア学習の充実 コミュニティ大学の支援、高齢者学級の充実					新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となったが、感染拡大防止のために規模を縮小するなど工夫をしながら一部事業は実施できた。また一部事業では、動画配信事業を開催したり、開催できた事業での満足度が99%のアンケート結果が出ているものもあり、市民の学びの意欲を感じることができた。					
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	公民館（4館）の高齢者学級受講者の合計人数		493人/年 (R1)	162人/年 (R2)				530人/年 (R7)		
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	健康寿命		男性17.15年 女性19.95年	男性17.29年 女性19.83年 (R1)					男性17.85年 女性20.65年 (R7)				
課題及び次年度の方向性													
<p>コロナ禍で外出や活動を控えることが続き、フレイル状態が悪化する懸念がある。そのため、市民のさまざまな活動への支援の強化に取り組んでいく必要がある。また、コロナ禍においても活動継続や効果的なつながりを形成していけるよう各分野において実施方法の検討・工夫が必要となる。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	B	「人」にあたたかい富士見市				関係課	産業経済課、都市計画課、道路治水課、建築指導課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
1	便利に快適に暮らせるまち	3	1	買物利便性の向上	B	商店街等の活性化（創業支援・商店街等の強化） 移動商店街・宅配事業者への支援（買物弱者支援） 不足業種の誘致					買物弱者への支援として平成27年度に作成した宅配電話帳を令和4年3月に再発行する予定。再発行にあたり、テイクアウト、ホームページ、SNSなどの個店情報を充実させ、コロナ禍も踏まえ、買物弱者に限らず誰もが活用できる電話帳とすることで、市内での買物利便性が向上できる。		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	買物支援策の実施事業数	-	1事業 (R3)					1事業以上 (R7)		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
2	住み心地の向上	B	市内循環バス・デマンドタクシーなどの見直し 歩道整備（グリーンベルト・安全施設設備） 空家対策（空家の適正管理、流通、利活用） 計画的な市街地整備（区画整理事業）、道路の整備（都市計画道路、生活道路等） 住まいに関する支援（リフォーム、住宅取得）					各取組は一定程度進んでいる。特に今後増えていくことが想定される空き家対策については、R4に第2期空き家対策計画の中で、対策を検討していくことが必要である。また、近居・同居も含めたリフォームや住宅支援についても既存事業は展開したが、新たな取組が必要になるものとする。					
タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
KSF	市内循環バス及びデマンドタクシーを含めた市内交通の検証	-	-					実施 (R7)					
タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
KPI	市内消費活動に不便を感じていない人の割合	-	54.7% (R3)					75.0% (R7)					
課題及び次年度の方向性													
<p>便利で快適に暮らせるまちづくりについては、様々な視点があり、基本計画における多くの分野が関係してきている。現状としては各施策を着実に進めていくことで、結果としてバランスの取れた住みやすいまちとしていくことを想定する。今後においては、都市計画マスタープランでの方向性も意識しながら、注力していくポイントを総合戦略の中で見定め、ポイントを絞った取組となるよう連携調整を行う。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	B	「人」にあたたかい富士見市	関係課	シティプロモーション課、都市計画課					
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組				R3年度の成果及び効果（見込）			
2	地域の魅力を感じ暮らせるまち	4	1	公園・湧水の活用	B	湧水を活用した回廊の整備 びん沼自然公園の整備・活用 公園用地の確保 水子貝塚公園や難波田城公園等、特色ある公園の活用				湧水の見える化を図るため、「富士見市湧水と緑の活用基本方針」の策定予定。 びん沼自然公園の整備については、埼玉県川越県土整備事務所が発注している川の国埼玉はつらつプロジェクト推進工事（びん沼川整備工事）の工期が延長したことに伴い、受注したびん沼自然公園整備工事（設計・施工）の工期完了が困難になったため工期の延長を行った（予定）。			
			KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
					水と緑の回廊整備箇所	-	-					1ヶ所（R7）	
			2	自然の保全と活用	A	市民緑地・緑の散歩道としての活用 保存樹林・保存樹木に対する助成 農地の保全（適正管理） 企業への緑化推進				緑の散歩道「関沢」用地取得（1,158㎡）し、緑地の保全に努めた。			
			KSF		タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
					市内の緑地面積	68,101.1㎡ (R1)	63,013.11㎡ (R3)					88,101.1㎡ (R7)	
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	休日の滞在人口		85,643人 (R1)	89,127人 (R2)					88,000人以上 (R7)				
	課題及び次年度の方向性												
<p>市の貴重な財産である湧水や緑の保全については、一定程度進めることができた。今後の活用方法について、転出超過傾向にある30代~40代の移住・転入につなげられるよう検討していく。 また、今後については新たにR3.4よりできたシティプロモーション課との連携を図り、積極的に対内外に情報を発信していく。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	B	「人」にあたたかい富士見市				関係課	政策企画課・協働推進課・建築指導課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
3	ともに支え合い暮らせるまち	1	1	地域コミュニティの推進	C	町会への加入促進 地域まちづくり協議会設立の支援 地域まちづくり協議会の活性化支援					市ホームページにおいて、町会紹介ページを作成・配布し、加入推進及び町会PRを支援している。また、町会長連合会と共同で町会運営マニュアルを作成、町会に配布している。結果として町会役員等にノウハウを伝えることができた。 新型コロナウイルス感染症のまん延による緊急事態宣言の発令等により、まち協の活動も制限されていたこともあり、未設置地域への働きかけは実施できていない。 協議会同士の交流会開催予定（3月）。情報交換等を行うことにより、協議会活動が再開に向けて活性化された。		
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
				地域まちづくり協議会の設立		6ヶ所（R1）	6ヶ所（R2）					11ヶ所（R7）	
			2	近居・同居の促進	C	近居・同居に対する支援 近居・同居セミナー等の開催					未実施		
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	近居・同居相談支援件数		-	-					5件/年（R7）				
KPI	地域活動への参加状況	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
				58.1% (H30)	53.6% (R3)					61.0% (R7)			
		課題及び次年度の方向性											
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、町会活動における、人が集まらなくてもできる会議の開催や、飲食を伴う集まりができず交流が図れないといった課題が出てきているため、新たな支援策を検討する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、人が集めて活動できないという課題が出てきているため、新たな支援策を検討する。</p> <p>近居・同居施策については、住宅支援の観点で支援できることがないか、所管課と政策企画課で協議を進めていくこととする。</p> <p>協働事業提案制度の見直しを早期に完了することで、地域課題を解決しやすくする。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっていた事業を通常開催することで、市民団体との協働事業を増やす。</p> <p>SDGsの理念の普及啓発に取組み、協働事業への参加に対する市民理解の土壌作りを行う。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	B	「人」にあたたかい富士見市	関係課	危機管理課、協働推進課					
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組				R3年度の成果及び効果（見込）			
4	誰もが安全で安心に暮らせるまち	3	1	防犯対策の推進	B	防犯に関する広報・啓発活動の推進 自主防犯活動の推進（リーダーの養成等） 防犯機器等（防犯カメラ・振り込め詐欺対策電話機等）の普及				新型コロナウイルス感染症のまん延による緊急事態宣言の発令等により、青色防犯パトロールカーの貸出を中止するなど、平時のような防犯活動はできなかったが、ソーシャルディスタンス確保等の感染対策を取った上で、地域における防犯活動を維持している。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	自主防犯組織の結成率		100% (R1)	100% (R2)					維持 (R7)	
			2	災害対策の推進	B	富士見市自主防災組織育成補助金 防災訓練の実施 防災ガイドブック（ハザードマップ）の更新及び周知				富士見市自主防災組織育成補助金を交付し、自主防災組織の資機材整備や防災倉庫の設置等が行われ、地域防災力の向上が図られた。緊急事態宣言解除後は、出前講座を積極的に実施し、防災に関する知識等の啓発や自主防災組織育成補助金の周知啓発を行った。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
KSF	自主防災組織率		75.8% (R1)	75.4% (R3)					100% (R7)				
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	市内犯罪率（人口千人あたりの刑法犯認知件数）		10.8件 (H24~H28 平均値)						8.7件 (R7)				
	課題及び次年度の方向性												
<p>安心安全の対策についても、継続的に実施できているところである。 コロナの影響により各種取組が実施できず、共助意識の醸成が難しくなっている。今後においては、新たな生活様式に合わせた実施手段を講じることで、事業実施（継続）を行うことで、共助意識を高める取組が必要となる。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市				関係課	産業経済課、農業振興課、都市計画課、まちづくり推進課			
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）			
1	強い産業基盤を形成するまち	3	1	シティゾーンの整備推進	B	埼玉県企業局と共同事業による産業団地の整備 市内外の企業の連携の強化					・埼玉県企業局との共同事業による産業団地整備を推進し、企業局の実施設計に併せて周辺整備の設計を実施。 ・地区計画の決定及び準防火地域の指定については、令和4年2月28日都市計画決定告示（予定）。			
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			企業誘致の実現		-	-						産業団地の整備（R7）		
			2	先端設備等の導入支援	B	富士見市中小企業チャレンジ支援事業による補助 先端設備の導入などの支援 産業振興基金を活用した事業所支援					中小企業チャレンジ事業補助金については、デジタルトランスフォーメーション化支援を新たにメニューに加え、補助件数が大きく伸び、先端設備等導入計画についても目標を越える認定数となり、生産性向上や良好なモノづくりの環境整備を推進できた。			
			KSF	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
先端設備等の導入計画の認定数		5件（R1）	9件（R2）						7件（R7）					
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
	製造業の事業所数		154事業所（R1）	-					160事業所（R7）					
	課題及び次年度の方向性													
<p>中小企業チャレンジ支援事業については、支援メニューについて追加や改善、廃止を含め、事業者のニーズに合っているか検証していく。また、先端設備等の導入については、周知について改善の余地があるので、検討していく。市内企業間の交流機会の提供については、産業団地の進捗状況に合わせ、情報交換などできる場の創設などを検討していく。</p>														

計画	総合戦略	分野		基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市				関係課	産業経済課、農業振興課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
2	魅力と活力のある農業基盤を形成するまち	4	1	農地の集積・維持	A	農地耕作条件改善事業の実施 人・農地プランの実質化 農地中間管理事業の実施					農地耕作条件改善事業について、令和3年度末までに下南畑二丁目地区が事業完了予定である。次の計画地の上南畑戸中堀地区については、事業化のための意見交換会を実施した。（令和3年12月実施、令和4年2・3月実施予定） 人・農地プランの実質化に向けた地域の話し合いを実施した。（令和3年12月実施） 人・農地プラン作成地区（上南畑地区）等で農地中間管理事業の手続きを進めている。		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	農地耕作条件改善事業実施地区数		1地区（R1）	-					2地区（R7）	
			2	農業の担い手支援	B	認定農業者等チャレンジ支援事業補助事業の充実 経営相談体制の充実 NPO法人等と連携した、高齢者・障がい者の農業分野への進出					補助制度の見直しを行った結果、認定農業者等チャレンジ支援事業補助金活用者が増加した。（R2:2件→R3:5件）※今後見込み1件（R3.12末） 農業経営改善計画認定等申請に係る相談（更新：5件、新規：5件） 農業経営改善対策支援事業補助事業の検討（令和4年度事業開始）		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
			KSF	認定農業者数		33経営体（R1）	-					40経営体（R7）	
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	人・農地プランの対象面積		49ha(R1)	-					64ha(R7)				
	課題及び次年度の方向性												
<p>農地中間管理事業の実施面積増加や水田フル活用の推進により、担い手の反収の増加が図られているほか、次年度には新規補助金の創設等を実施する予定であり、儲かる農業の実現を推進している。しかし、現状の各種制度等については活用農業者が少ないことが課題となっているため、新規補助金制度の創設にあたっては、十分に農業者への周知方法を検討しながら補助事業を実施することとする。また、既存制度の周知についても積極的に実施する。</p>													

計画	総合戦略	分野		基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市					関係課	文化・スポーツ振興課、人権・市民相談課、高齢者福祉課、産業経済課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）			
3	誰もが活躍できるまち	3	1	多様な働き方の推進	B	サテライトオフィスの誘致又は開設 資格取得の促進					埼玉県市町村テレワーク・サテライトオフィス情報交換会に参加し、先進事例の研修や情報交換を行った。また、中小企業チャレンジ支援事業補助金の人材育成事業として資格取得の支援を行った。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			KSF	サテライトオフィス・リモートワークスペースの誘致		-	検討・実施 (R3)					検討・実施 (R7)		
			2	女性活躍の推進	B	有資格者の掘り起こし 女性の再就職・起業の支援 男性育児休業取得の推進					ハローワーク川越と近隣市町で共催する「介護就職デイ 福祉の仕事就職面接会」（令和3年11月開催）において3名の市民の方の就職が決定した。また、埼玉県セカンドキャリアセンターや埼玉県女性キャリアセンターなどの開催する就職相談、就職支援セミナー、面接会などの情報提供を行った。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			KSF	有資格者の掘り起こしから実際に就職した人		-	3人/年 (R3)					5人/年 (R7)		
			3	高齢者の就労支援	B	地域における高齢者雇用に対する支援 高齢者向け就労相談事業の実施 シルバー人材センターの機能強化 人手不足事業者と高齢者のマッチング事業					就職支援セミナーへの参加率は下がったものの、創業支援セミナーへシニアの参加があり、老人センター等への周知など、シニア層への周知が行えた。また、県の「シニア活躍推進宣言企業」や「生涯現役実践企業」の市内認定企業を市広報で紹介するなど、シニアが活躍でき企業をPRすることでシニアの就労支援を行った。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			KSF	就労支援セミナー参加割合（高齢者）		55.0% (R1)	46.7% (R3)					60.0% (R7)		
			4	外国籍市民の地域での活躍支援	B	外国籍市民が地域に溶け込む機会の提供 外国籍市民向けチラシ等による地域参加の促進					広報富士見の多言語配信やNPO法人ふじみの国際交流センターへの6か国語でのホームページの作成委託、市配布物の多言語標記の促進等外国籍市民が地域で活動しやすい環境を整備している。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			KSF	外国籍市民向けの地域参加促進事業数		-	-					1事業以上 (R7)		
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
	女性の就業率		52.4% (H27)	-					56.8% (R7)					
課題及び次年度の方向性														
<p>富士見市ふるさとハローワーク、入間東部シルバー人材センター、埼玉県女性キャリアセンター、ふじみの国際交流センター、富士見市商工会などの関係機関と連携しながら女性や高齢者などの就職支援に取り組んでいる。今後もこれらの関係機関と連携しながら就職支援に取り組んでいく。併せて、既存のホームページを女性、高齢者、若者向けにリニューアルするなど、情報の受け手側に分かりやすく改善していく。また、セミナーや就職面接会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が危ぶまれている状況が続いており、今後もコロナ禍を踏まえての検討・実施となる。</p>														

計画	総合戦略	分野		基本政策	D	「仕事」をつくる富士見市				関係課	危機管理課、健康増進センター、学校教育課、各課			
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）			
1	新たな日常に対応した生活の確立	3	1	感染拡大防止対策など社会環境の整備	B	3密対策の実施 医療体制確保への支援 行政手続きのICT化の推進 感染症に対応した災害体制の構築					新型コロナウイルス感染症の拡大を受け創設された国の地方創生臨時交付金を活用しながら、感染予防物品の配備、庁舎内のWi-Fi環境の整備、Web会議のできる多機能型電子ホワイトボードの配備など、新たな生活様式への対応を念頭に、市内における感染拡大を防止するための環境整備を積極的に行った。			
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			KSF	社会環境整備策の実施		-	実施（R3）					実施（R7）		
			タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
			2	新たなライフスタイルへの対応	B	学校教育等におけるICT化の推進 新たな生活様式に対応した事業等の実施 ひとり親家庭や単身高齢者へのつながりの創出					新型コロナウイルス感染症の拡大を受け創設された国の地方創生臨時交付金や国庫補助金等を活用しながら、GIGAスクール構想に基づく学校の環境整備を行った。また、様々な対象者に向けた講座やイベントについては、三密を避け少人数での開催を行ったほか、オンライン開催、対面とオンラインを組み合わせたハイブリット方式など、新たな生活様式に対応した手法で事業実施を行った。			
タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値						
KSF	新たなライフスタイルへの対応策の実施		-	実施（R3）					実施（R7）					
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値					
	感染症に対応して生活している市民割合		96.4%（R2）	98.7%（R3）					100%（R7）					
課題及び次年度の方向性														
<p>飛沫感染や経口感染など対面による感染拡大を防止するための環境は、一定程度整備できたところだが、感染拡大等に影響を受けないレジリエントな地域社会を構築していくためには、完全非対面での行政手続き等の実現に向けたデジタル環境の整備を、行政はもとより市内全体で加速させていく必要がある。令和3年度に策定された富士見市DX推進計画に基づき、投資対効果等を踏まえつつ、行政及び各団体で連携を取りながら、必要なデジタル化を進めていく必要がある。これらの前提として市民のマイナンバーカード取得率の向上に向け注力していく。</p>														

計画	総合戦略	分野		基本政策	D	「仕事」をつくる富士見市				関係課	産業経済課・農業振興課		
No.	基本施策	進捗	No.	取組	進捗	具体的な取組					R3年度の成果及び効果（見込）		
2	地域経済の継続	3	1	事業継続への支援	B	資金繰り対応への支援 地代・家賃負担の軽減策の実施 生活困窮者への支援（就業支援など） 雇用の拡大（就労希望者と事業者のマッチング） 新たな取組を行う事業者等の支援の実施					一定の売上げの減少がみられる小規模事業者の事業活動の継続を支援するため、小規模企業者支援給付金の給付を実施した。併せて、令和3年4月から中小企業チャレンジ支援事業の補助対象事業にデジタル・トランスフォーメーション化事業を追加し、事業者支援の充実を図った。		
			KSF	事業継続支援策の実施	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
					-	実施 (R3)						実施 (R7)	
			2	消費需要の喚起	B	いい富士見の日などを活用した販売促進 市内事業者の周知 シティゾーンの誘致に伴う、市内工業との連携強化					いい富士見の日に実施するふじみマーケットなどの販売促進イベントの一部は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、プレミアム付商品券発行事業や宅配電話帳の再発行（予定）などを実施し、消費需要の喚起を行った。		
			KSF	消費需要喚起策の実施	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
					-	実施 (R3)						実施 (R7)	
			3	デジタル技術の積極的活用（生産性の向上）	B	遠隔医療、遠隔教育、テレワークなどの導入支援 デジタル技術を活用した新たな公共交通体系の確立 農業のスマート化、農地の集積の促進 先端設備の導入支援、ICT化の推進（人的支援など）					令和3年4月から中小企業チャレンジ支援事業の補助対象にデジタル・トランスフォーメーション化事業を追加し、市内事業者のテレワーク導入支援を実施した。また、農業振興施策として、実質化された人・農地プランの作成及びこれに伴う農地の集積化を推進し、下南畑二丁目地区の農地の集積化を実施した。		
			KSF	デジタル技術を活用した支援策の実施	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
					-	実施 (R3)						実施 (R7)	
KPI	タイトル		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値				
	市内消費の割合（食料品・日用雑貨等）		52.4% (H27)	-						56.8% (R7)			
課題及び次年度の方向性													
<p>新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により、市内事業者は大変厳しい状況に置かれている。中小企業チャレンジ支援事業の補助対象事業の充実及び活用を図り、事業者支援を推進していく。 実質化された人・農地プランに基づき、農地の集積化を推進していく。</p>													